

2017年4月1日
教え子を再び戦場に送るな
第14号

全滋賀教組 UNITE!

全滋賀教職員組合

発行人 竹腰宏見
大津市朝日が丘1丁目11-3
教育文化会館
tel (077) 522-4965
fax (077) 522-4978

いつでも子どもたちを「真ん中」に みんなで前を向いて歩みつづけたい あなたも全滋賀教職員組合とともに



私が先生になったとき
自分が眞理から目をそむけて
本当のことが語れるか

私が先生になったとき
自分が未来から目をそむけて
子どもたちに明日のことが語れるか

私が先生になったとき
自分が理想を持たないで
子どもたちにどうして夢が語れるか

私が先生になったとき
自分が誇りを持たないで
子どもたちに胸をはれと言え
るか

私が先生になったとき
自分がスクラムの外にいて
子どもたちに仲良くしろと言
えるか

私が先生になったとき
自分の闘いから目をそむけて
どうして子どもたちに勇気を
持てと言えるか

(作者不詳)

こんにちは、 全教共済です!



生涯賃金の水準低下の中。
約6割の教職員は「生活が苦しい」(全教・意識アンケートより)と答えています。
そんな中、全教共済は全国の教職員の“相互扶助”の輪を広げています。
全教共済は全日本教職員組合(全教)の自主共済です。

教職員を守る
「3つの運動」を
すすめています

教職員の

- 生活を守る
- いのちと健康を守る
- 身分を守る

全国の教職員の助けあいの輪の中に あなたも入りませんか!

共済によって
加入申込期間が
決まっているよ

いつでも
加入申込
できる

- 総合共済 ● 火災共済
- 教職員賠償責任共済
- 暮らしの賠償責任共済
- 全教自動車保険

毎月15日申込締切、
翌月1日より加入

加入申込
期間が
決まっている

- 生命共済 ● 医療共済
- 新傷害共済
- 医療共済終身タイプ

申込期間2月～6月
(加入月4月～8月)

医療共済終身タイプは
8月加入です

● 年金共済

- 毎年 2月1日 (募集締切 11月30日)
- 毎年 8月1日 (募集締切 5月31日)
- 毎年 9月1日 (募集締切 6月30日)

全滋賀教職員組合 組合 加入届 (高教組・滋障教・全教高島・全教大津・全教湖南・全教甲賀・湖東第一・湖東第二・湖北)

| | | | |
|------------|-------|------|--|
| ふりがな 氏名 | 男・女 | 職場名 | <input type="checkbox"/> 正規 <input type="checkbox"/> 臨時 |
| 〒 現住所 | | 電話番号 | - - |
| 生年月日 | 年 月 日 | 職員番号 | |

【全教共済・加入届】

加入する共済にレ(チェック)してください

| | |
|--|-------------------|
| <input type="checkbox"/> 総合共済 | (結 婚 年 月 日 年 月 日) |
| <input type="checkbox"/> 教職員賠償責任共済 | |
| <input type="checkbox"/> 暮らしの賠償責任共済(※) | ※正式な加入届を後日送ります。 |

みんなで力を合わせて 実現してきました。

何よりも子どもたちを大切に

- 小中学校全学年で35人学級
- 特別支援教育支援員など市町の加配配置
- 県立学校の耐震化がほぼ実現
- 教室のエアコン整備
- 障害児学校のスクールバス配置

教職員の暮らしも守りましょう

- 月例給・ボーナスともに3年連続引き上げ(2016)
- 地域手当が7.5%に(2017)
- 部活動指導手当 2400円→3000円(2014)
- 11年にわたった理不尽な給料カットを廃止(2014)

ブラック職場はダメよ

- 超勤の縮減へ、県教委が勤務時間を把握(2013)
- 市町教委も含めて、「超勤縮減プロジェクト」を設置させる(2016)
- パワハラ防止指針を作成させる(2012)
- 勤務時間を1日8時間から7時間45分に短縮(2009)
- 夏季特別休暇を6日に(2005)

子育て・介護との両立を

- 育児休暇が3年に(2002)
- 育児時間休暇の対象が3歳まで拡大(2015)
- 妊娠障害(つわり)休暇を14日に拡大(2014)
- 一人目の妊娠者から体育実技を軽減、障害児学校は障害種を問わず業務軽減措置を実現
- 学校等行事休暇や看護等休暇を新設・改善
- 介護休暇・介護欠勤を合計12月に拡大(2007)、分割取得も可能に(2017)

臨時教職員にも光を

- 6月一時金支給額を大幅(24~33万円)改善(2015)
- 臨時講師の給料の上限を4号(年収約10万円)アップ(2012)
- 年休繰り越しを実現(2014~2017)
- 有給の私傷病特休が30日に拡大(2011)
- 教員採用試験の受検年齢を49歳に引き上げ、一次合格者に2年間受験科目の一部免除を実現



秋。次年度予算での要求実現めざして街頭での署名、対県交渉など全力でとり組み、毎年成果をあげています。(左)

みんなで団結！交渉や署名を通じて要求実現



教育予算増を実現する原動力、「教育全国署名」。35人学級など国の政策を動かしてきました。

大事なことはみんなで話し合っ て決める



定期大会(2月)。小中高障すべての校種から、160人が集まり熱心に討論。

仲間がいるから 明日からがんばれる



夏休み。サマーセミナーでの学び。昨年女性部では「障害者差別解消法って？学校での合理的配慮とは？」などホットなテーマで話し合いました。

全教未来をひらくプロジェクト「ゆいま〜る」。青年たちが、全国の仲間とともに、基地問題に揺れる沖縄の現実を学び、憲法と平和について考え合いました。



4月。7つの地域で「新学期スタート講座」を開催。誰もが期待と不安があるなか、子どもたちと素敵な出会いをもとめて、みんなで交流します。

憲法を学ぼう 平和な 世界を子どもたちに



全滋賀教組とともに、あなたの要求を実現しましょう

- 小中学校は単級学年でも35人以下学級を。高校でも35人学級に踏み出させよう。
- 特別支援学級の定員(現行8人)の引き下げを。
- 障害児学校のマンモス解消、新しい学校をつくらせよう。
- すべての校種で教職員を大幅に増員させよう。
- 「子どもの貧困」克服へ、教育の無償化をすすめよう。給付制奨学金制度を創設・充実させよう。
- 暮らしの改善につながる賃金の引き上げ、専門性にふさわしい教職員の賃金水準の確保を。
- 異常な長時間過密労働の改善へ、事業の削減など実効性のある措置を求めよう。
- セクハラ・パワハラ・マタハラなどを一掃し、安心して働ける職場にしよう。
- 「同一労働同一賃金」は当然。臨時教職員と正規教職員の均等待遇を実現しよう。